

第13期生 15名

## 山村留学生対面式



▲これから3年間を只見で過ごす第13期生の皆さん

4月8日、只見振興センターで第13期生となる山村留学生対面式を行いました。

教育長はいさつで「皆

さんに期待したい事が2つあります。まず一つ目は、自分の夢を実現して欲しいという事。2つ目は只見

を『第2のふるさと』と思

つて、将来は只見の応援団になつて欲しいという事です。」と山村留学生に話し、来賓の方々からも歓迎の言葉が述べられました。

山村留学生の皆さんは自己紹介で、将来は警察官や保育士になりたいなど叶えたい夢を話してくれました。皆さんにはこの夢をぜひ只見で叶えて欲しいと思います。

町と行政区長の意見交換

## 平成26年度町政報告会



▲意見交換で発言される区長

4月24日、季の郷湯ら里で区長連絡協議会総会が行われ、終了後に平成26年度町政報告会を行いました。

目黒町長はいさつで「災害から脱却し、地域問題に力強く取り組んでいきたい。皆さんから意見を頂きそれを政策に活かしたい。」と述べ、その後、今年度の新規事業や協力事項について担当課長より説明を行いました。

説明後は、事業の取組み方や施設の安全対策についてなど様々な意見が区長の皆さんから寄せられ活発な意見交換が行われました。

滞納の無い町を目指して

## 平成26年度納税貯蓄組合連合会総会



▲今年度の事業計画や予算についても話し合われました

4月17日、朝日振興センターで平成26年度納税貯蓄組合連合会総会が開催されました。

関谷一会長はいさつで「4月から消費税も上がり、只見町のような高齢者社会では収納業務は大変だと思えますが、滞納の無い町を目指して頑張りましょう。」と述べられました。

今年度は役員の変更があり、新会長に小川の栗木豊さんが選任されました。

三百八十万三千円を寄附  
JR只見線復旧復興寄付金



▲佐藤県知事へ目録を手渡す川原田会長(前列中央)

JR只見線の復旧に向け、只見町JR駅を支援する会で寄付金を募ったところ、町民の皆様はじめ事業所や町外の方など多くの方から寄付金を頂き総額三百八十万三千円となりました。

この寄付金は4月23日、只見町JR駅を支援する会の川原田会長、目黒町長などが福島県庁を訪れ、福島県只見線復旧復興基金へ寄附いたしました。

鈴木団長に  
消防団長辞令交付



▲目黒町長より辞令を受ける鈴木団長

4月1日、只見町役場町長室で目黒町長から鈴木好行消防団長へ辞令が交付されました。

鈴木消防団長は、本年3月末で4年の任期を満了し、4月より2期目の消防団長を務められます。

鈴木団長は辞令を受け「引き続き町民の安全・安心の為に消防団業務に努めていきたい」と話されました。

自分達の町は自分達で守る  
春の消防団活動



▲防火の大切さを教えました

只見町消防団は、春の火災予防期間にあわせ4月15日に防火パレードを実施しました。途中立ち寄った朝日保育所では、子ども達に消防署長、婦人消防隊長から火遊びをしないようにとお話をすると、子ども達は「火遊びは絶対しません」と大きな声で誓いました。



▲今後の活躍を期待します

4月17日には、新入団員訓練が朝日振興センターで行われました。はじめに消防団の概要などについての勉強を行い、その後は敬礼や行進など基礎的な規律訓練を実施しました。参加した13名の新入団員は初めての訓練に戸惑いながらも真剣に取り組んでいました。